

## 星のふるさと

森野 水琴

彼は夜空の星を眺めている。

それぞれの星の光は、距離に応じて何年もの時間をかけて届いている。

ある星はもう消えてしまい、光だけがやっと届いているのかもしれない。

ある星は生まれて間もないので、まだ光が届いていないかもしれない。

だが彼は今、この瞬間に星々に見守られている。

そう、見守られながら生きている。

その安心感に背中を押されている。

彼自身が輝くわけではないが、小さな営みを続けられる。

満天の星に彼は願う。

これから見守ってください。